

空手で一番苦しかったこと

受験日：平成 25 年 3 月 30 日

西東京地区本部

浜田山支部

伊藤健一郎

親子で出来る空手はないかと探して月心会へ娘と息子と私の 3 人で入門してから早くも 4 年と 3 ヶ月が過ぎました。空手の練習や大会では残念だったこと、結果が出せたものの双方を思い起こすことができますが、後から振り返ってみるとどの経験もよい思い出であり、「空手で一番苦しかったこと」を挙げるのは難しいのですが、あえて挙げるとすれば、弱い自分に向き合うことだったのではないかと思います。ついつい自分でここまでと限界を決めてしまった時や怠け心が出てきた時に、いかに弱い己に打ち勝つかについてこれからも空手を通じて心の鍛錬をしていきたいと思います。

指折り年月を数えてみて、空手を始めてから 4 年という月日が流れているのかと驚いてしまいますが、市川本部長をはじめ黒帯の皆様のご指導の元、練習や数々の大会を通じて多くの経験をさせていただくことができたことに感謝しています。月心会の良さはなんと言っても親子でお互いに切磋琢磨しながら空手に励むことが出来ることにあるかと思います。特に子供との接点が少なくなりがちな父親にとって、子供 2 人の小学生低学年から高学年にかけての大切な成長期に空手を通じて触れ合うことができたことは大変貴重であったと思います。これからも親子 3 人で空手の練習に励み、より己に磨きをかけていきたいと思います。